

花粉症対策本部第11回全体会議事要旨
【平成26年11月21日(金)7階北側庁議室】

(副知事挨拶)

第11回東京都花粉症対策本部全体会議の開催にあたりまして、一言申し上げます。

東京都では平成18年度から総合的な花粉症対策を進めております。多岐の分野にわたって、各局それぞれ取組をいただいております。御努力に感謝します。

今年の平成26年は、10月から新たに舌下免疫療法に関する臨床研究等の保健医療対策、これが、舌下免疫療法が実用化されたということもありまして、それなりに進みがございます。また、多摩産材の利用、山元の対策では、今年の6月に多摩産材の利用拡大を推進するとともに、都民にその良さをPRするための多摩産材情報センターなども設置されました。

今年の春の花粉症の花粉の飛散量は、福祉保健局の発表によると、昨年約三割ということで少なく、過去10年間と比較しても6番目に少ないということで、花粉症に苦しむ人にとっては、少しは和らいだと思っておりますが、また来年どうなるかわかりません。

それから、いろいろと対策をとっていただいておりますけれども、事柄の性格上、劇的によくなるということはないので、引き続き取組を継続していかねばならないと思っております。

また、こうした花粉症の対策の取組につきましては、都民の方の協力も得まして、企業の森であるとか、東京マラソンチャリティ、緑の東京募金など、様々な協力をいただいております。これまでで、累計で約三億六千万もの募金が集まっています。こういう都民の方の後押しをバックに、これらを有効に活用して、花粉症対策を前に進めていきたいと考えております。

また、6年後の2020年には、東京オリンピック・パラリンピックがございますが、競技施設、その他の施設に木材の利用ということがかなりの意見として出ています。大変良いことだとは思いますが、多摩産材の地元である東京都としても、また開催都市である東京都としても、地元の多摩産材の認知度を高め、都民に定着させていく必要があると思っております。このためには、引き続き東京都の率先利用が重要だと思っておりますので、これまでの取組に加えて、今一層の利用拡大に向けた取組をお願いしたいと思います。

それでは、引き続き各局が連携して総合的な花粉症対策を進めていかれることをお願いしまして、御挨拶とします。よろしく申し上げます。

(事務局説明)

- ・花粉症対策本部は、医療福祉、大気汚染対策を中心とした従来の花粉症対策に、新たに花粉発生源対策を加え、関係14局の協力体制のもとに、花粉症対策を推進していくために設置された。今年度新たにオリンピック・パラリンピック準備局を加え、15局での推進体制となる。
- ・広域的かつ総合的な対策を講じるために、国や九都県市とも連携。

花粉症対策本部第11回全体会議事要旨
【平成26年11月21日(金)7階北側庁議室】

(議事)

≪東京都花粉症対策本部の取組≫

- ・ 森林整備：平成25年度実績及び平成26年度計画。今後の方向性として、都民共有の財産である森林を次世代に継承していくため、森林の持続的な循環を進める対策を継続していく予定
- ・ 試験・研究・調査：共同研究による「林業コスト削減調査・研究」を引き続き実施
- ・ 都民協働：「花粉の少ない森づくり運動」の推進のため、募金活動、企業の森、森づくり支援倶楽部、花粉飛散時期における「花粉の少ない森づくり運動」の一斉PR、多摩産材の普及PR、パスモ電子マネーによる募金、みどりの東京募金を継続的に実施。
- ・ 保健・医療：総合的な花粉予防・治療対策に取り組んでいる
- ・ そのほか：大気汚染対策、消費者保護対策等

≪主伐事業と木材流通≫

- ・ 主伐事業による実績について説明
- ・ 伐採により生産した木材は、多摩木材センターにて市売りされるA材、合板用のB材、チップ用のC材としてそれぞれ利用

≪多摩産材の利用拡大≫

- ・ 各局における活用事例とともに実績を説明
- ・ 都立高校改修・改築工事における腰壁等（財務局）、都営住宅建設工事における内装パネルの心材等（都市整備局）、自然歩道・登山道の改修工事への多摩産材利用（環境局）、道路工事・河川工事・公園整備における利用（建設局）、海の森の緑地柵への多摩産材利用（港湾局）等
- ・ 木とのふれあい推進事業では、多摩産材を使った内装木質化等への助成を実施
- ・ 平成26年度より多摩産材情報センターの運営を開始

≪花粉の少ない森づくり運動≫

- ・ 平成26年春における花粉飛散時期のPR活動の内容、企業の森実績、東京マラソンチャリティ“つなぐ”事業を通じた募金活動及び森林整備

≪総合的な花粉症予防・治療対策の推進≫

- ・ 今春の花粉飛散量を報告
- ・ 花粉自動測定・予報システム「とうきょう花粉ネット」について、花粉予報マップ及び花粉予報メール配信サービスの運用・実施状況を説明
- ・ 舌下免疫療法について、新薬が今年販売開始

花粉症対策本部第11回全体会 議事要旨
【平成26年11月21日(金)7階北側庁議室】

《その他報告等》

・環境局：環境局が行う森林整備・都民協働の取組・ディーゼル車による排出ガス規制について説明、平成25年度の大気汚染の状況について報告

(副知事コメント)

少しずつでも森を変えていく、医療を積み重ねていくというのは、都民の方も半分、3分の1くらいは花粉症だと思いますので、長い目で見て役に立つ仕事になると思います。

我々は劇的にこの問題を解決できません。それぞれのセクションで積み重ねていって、息の長い仕事をお願いしたいと思います。しかしそれは必ず積み重なって、結果が出てくるかなと思います。どうぞよろしくをお願いします。